

日本女性医学学会主催

「2022 年度医療スタッフのためのウィメンズヘルスケア講座」開催要項

1. 目的

女性医学に興味ある多職種の医療従事者を対象に、幅広いウィメンズヘルスケアに関する最近の情報を学び女性医学に対する理解が深まることを目的とします。

2. 実施要項

1) 日本女性医学学会主催「2021 年度女性のヘルスケア研修会」(2021 年 9 月から 2022 年 8 月まで開講) の講演ビデオ(33 講義)を1年間オンデマンドで聴講可能とします。

2) 対象:女性医学に興味ある医療関係者・医学教育関係者

定員 500 名:応募多数の場合には抽選で受講者を決定させていただきます

3) 受講料:日本女性医学学会会員以外 15000 円 日本女性医学学会会員 12000 円 学生 6000 円

*クレジットカード一括前払い(受講申込者にはお支払い方法を別途ご案内いたします。新規に学会ご入会の場合は受講料お支払い前に入会手続きをお取りください。学会の年度は毎年9月から1年間です)

*学生は、医療関連の大学あるいは専門学校に在籍しており、学生証のコピーが必要です。大学院生は除きます。

4) 受付:2022 年 9 月 1 日 12 時から 9 月 23 日 17 時まで

受講決定通知 2022 年 9 月 28 日までにメールでご連絡いたします

5) 受講期間:2022 年 10 月1日から 2023 年 9 月 30 日まで1年間 33 講義を同時配信。試験は各講義で 5 問出題し 60%以上で合格とします。全講義を受講できなくても、1 年間の受講期間内に合格した講義に関して、2023 年 9 月末の配信終了後に修了証を発行します。(年度途中での単位発行には対応できませんのでご留意ください。)

6) 取得可能な研修単位:日本助産評価機構の助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー/CLoCMiP)®レベルⅢ認証の WHC (ウィメンズヘルスケア)分野の推奨研修に認定され単位付与が可能。薬剤師研修センターの 認定薬剤師に関わる単位取得(自己学習として)に活用できます。

7) 注意:日本女性医学学会、日本産科婦人科学会、日本専門医機構の研修単位はつきません。

日本女性医学学会認定女性ヘルスケア専門医取得希望者あるいは医師以外の医療従事者で認定資格取得希望者は、毎年5月に募集する「女性のヘルスケア研修会」などを受講して単位取得してください。

※「医療スタッフのためのウィメンズヘルスケア講座」と「女性のヘルスケア研修会」の比較

	医療スタッフのためのウィメンズヘルスケア講座	女性のヘルスケア研修会
メリット	安価 助産実践能力習熟段階、認定薬剤師に関わる単位取得(自己学習)に必要な研修とする。	最新の講演を聞くことができる 質問とそれに対する返答あり 日本女性医学学会、日本産科婦人科学会、日本専門医機構の単位取得可能
デメリット	3~12ヶ月前の講演内容、質問に対する返答なし、 日本女性医学学会、日本産科婦人科学会、日本専門医機構の単位取得不可能	高額(2022年度:医師:日本女性医学学会会員 40,000円、非会員50,000円 医師以外:学会会員30,000円)
対象者	女性医学学会の専門医や認定資格(医師以外の医療従事者)を特に希望しない方	主に女性医学学会の専門医や認定資格(医師以外の医療従事者)取得希望者

9) 講義ビデオ、講義資料を本学会および講師に許可なく無断転用、複製することを禁止いたします、

3. 申し込み・お問い合わせ先

受講希望者はこちらの専用フォームからお申し込みください(日本女性医学学会 HP から申し込み可能です)

<URL> <https://sites.net-convention.com/whcms2022/entry/>

【お申し込みおよび研修会などに関する問い合わせ先】

医療スタッフのためのウイメンズヘルスケア講座 運営事務局

(株式会社コンベンションリンクージ内 (月～金 9:30～17:00、土日祝日を除く))

TEL 03-3263-8688 FAX03-3263-8693 E-mail: whcms2022@c-linkage.co.jp

【日本女性医学学会入会に関する問い合わせ先】

日本女性医学学会事務局 ((株)コングレ内)

TEL:03-3510-3743 FAX:03-3510-3748 E-mail: info-jmwh@congre.co.jp

日本女性医学学会主催 2022年度医療スタッフのためのウィメンズヘルスケア講座

回	配信日		講演テーマ	講師（敬称略）	講演時間 (分)
1	2021/9/5	1	周産期異常後のヘルスケア(HDP, GDMなど)	倉林 工	60
		2	乳がん検診（乳がんの診断とHBOC含む）	加藤 剛志	61
		3	HRTの实地臨床	岡野 浩哉	84
		4	リプロダクティブ・ヘルス/ライツと安全な中絶	木村 正	61
		5	原発性無月経・思春期の月経異常とその治療	樋口 毅	61
2	2021/11/7	6	女性ホルモンの基礎	安井 敏之	67
		7	性分化疾患の移行期医療	江頭 活子	56
		8	性成熟期の月経異常	小川 真里子	64
		9	加齢と妊孕性 生殖医療の現状	大須賀 穰	65
		10	更年期障害	高松 潔	72
3	2022/1/9	11	性同一性障害の診断と治療、LGBT	中塚 幹也	64
		12	性機能障害（慢性骨盤痛、外陰痛を含む）	大川 玲子	64
		13	漢方関連（更年期、PMS, PMDD）	武田 卓	61
		14	避妊法 緊急避妊法	岩佐 弘一	37
		16	摂食障害	甲村 弘子	49
4	2022/3/6	15	子宮がん検診（HPVワクチン、子宮内膜増殖症含む）	宮城 悦子	67
		17	心身症	寺内 公一	61
		18	女性の下部尿路症状	古山 将康	54
		19	HRTの安全性と有用性	若槻 明彦	64
		20	女性アスリートのヘルスケア	能瀬 さやか	61
		21	ロコモティブシンドローム・フレイル	小川 純人	52
		22	Office Gynecologyでの高血圧症と脂質異常症	河野 宏明	89
5	2022/5/1	23	婦人科がん術後患者のヘルスケア	横山 良仁	73
		24	OC/LEPの实地臨床	若槻 明彦	60
		25	周産期のメンタルヘルス	竹内 崇	66
		26	子宮内膜症とPCOS（将来の生活習慣病）	篠原 康一	62
		27	性暴力・性虐待への対応、ドメスティック・バイオレンスとその対応	種部 恭子	67
		28	性成熟期女性に多い他科疾患（プレコンセプションケア）	金子佳代子	61
		29	女性医学と行政	倉澤 健太郎	63
6	2022/7/3	30	Office Gynecologyでの感染症	野口 靖之	61
		31	日本ナースヘルス研究（JNHS）	林 邦彦	61
		32	わが国の性教育の現状と包括的性教育	蓮尾 豊	72
		33	産婦人科医（私）の行う性教育の実際と注意点	蓮尾 豊	94